

あなたの瞳に映る緑

小川 美香子 福島県白河市 二十八歳

あなたを出産する予定の日付は、八月二十四日。／春から萌えあがった眩しいほどの緑が、／秋の紅葉を前に一番命を燃やす季節。／その直前に、私とパパは／新しいおうちに引っ越すよ。／できたばかりの、大きくて四角いおうち。／あなたと一緒に遊べるお庭もあるよ。／でもね、そのお庭はまだ、ただの平らな茶色い地面。／あなたのじーじとばーばのおうちは、／ふたつとも、／お庭にたくさんのお花が咲いて、高い木がすくと生えていて、／たくさん緑に囲まれている。／ママは赤ちゃんの頃から、／お庭の緑で季節を覚えていったよ。／お花の名前を覚えて、／葉っぱの色の移り変わりを／あなたのじーじとばーばと一緒に見てきた。／だから、ママとパパも、／新しいおうちに、／あなたと何年も何年も見つめていける緑を／少しでもいいから植えたいな。／ジャングルのようなわくわくするお庭は、／じーじとばーばのところで／たくさん遊んで体験しようね。／そこまではできないけれど、／あなたが大人になったときに／ママのように「うちにはあの花が咲いていたな」って／ふとしたときに思い出して、柔らかな気持ちになれるような／そんなお庭にできたらいいな。／あなたのパパはとっても優しく、／今から、お庭であなたと一緒にトマト作るんだって／張り切っているよ。／緑色は心が綺麗になる色。／小さいけど可愛いお庭にしようね。／だから、元気に産まれておいで。／待ってるよ。